

# 平成24年度 学校自己評価システムシート (さいたま市立大宮北高等学校)

目指す学校像	「自主・自律・創造」の校訓のもとで、生徒の学校生活への意欲・関心を高め、一人一人の能力・適性の伸長を図りながら、自己実現を積極的に支援する
--------	-----------------------------------------------------------------------

重点目標	1 積極的な学習態度を育て、確かな学力を定着させる。 2 組織的・継続的な進路指導を推進し、進路希望の実現に努める。 3 基本的生活習慣の定着に努め、健全な心身と豊かな人間性を育む。 4 地域から国際社会へと、開かれた学校づくりを推進する。 5 保護者や市民等の期待に応えられる特色ある学校づくりを推進する。
------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

達成度	A	ほぼ達成(8割以上)
	B	概ね達成(6割以上)
	C	変化の兆し(4割以上)
	D	不十分(4割未満)

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	学校関係者 6名 生徒 3名 事務局(教職員) 7名
-----	----------------------------------

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。

※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

学 校 自 己 評 価					年 度 評 価		
年 度 目 標					年 度 評 価		
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策
1	日々の生徒の学習活動への取り組みや学習習慣は、まだ十分な状況ではない。確かな学力を身に付け、進路希望を実現させるために、引き続き、授業改善に取り組み、指導内容の充実を図っていく必要がある。	授業改善と学力の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>○質の高い分かり易い授業の実践</li> <li>○授業改善のための研修会参加や授業公開月間の推進</li> <li>○シラバス改訂と有効活用の促進</li> <li>○予習・復習等、学習習慣定着のための指導充実と学習状況の把握</li> <li>○授業時間の確保の工夫と把握</li> <li>○生徒の学習環境の整備の推進</li> <li>○学習の遅れがちな生徒に対する補習等による指導の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○質の高い分かり易い授業を実施できたか。</li> <li>○授業公開等を通して授業改善に取り組めたか。授業改善の成果がでてきたか。</li> <li>○シラバスを改訂し、有効活用ができたか。</li> <li>○家庭等での学習時間が増え、学習習慣が定着したか。</li> <li>○必要な授業時間数を確保できたか。</li> <li>○生徒の自習室の整備や活用が進んだか。</li> <li>○各教科の成績不振者数が減少したか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○授業…授業アンケート満足度 94.6% (7月実施)</li> <li>○授業改善…土曜授業公開 15回、6・11月の校内授業公開月間、市立高校授業研究会 10/19・11/13</li> <li>○シラバス改訂…大学等受験科目の履修条件追加</li> <li>○学習状況の把握…スタディサポートをもとに学習時間を把握し、適時進路面談を実施</li> <li>○授業確保…土曜授業で昨年度比較60時間増</li> <li>○学習環境の整備…夏季休業中3学年自習室設置</li> <li>○成績向上の補習…期末考査2週間前の学習会実施</li> </ul>	B	保護者アンケートでは16%が授業に不満という回答だった。模試・補習等を有効に活用させ、家庭学習を含めた主体的な学習態度を身に付けさせたい。また、授業改善に向けて新学習指導要領に基づく教育課程等職員研修会を実施する必要がある。
2	ほぼ全員の生徒が大学等の上級学校への進学を希望しているが、進路実現のための目標や計画が具体的でなかったり、準備が遅れがちな生徒が目立つ。低学年からの継続的・計画的な指導をさらに充実させ、一人一人の進路実現を積極的に支援する必要がある。	進路希望の実現	<ul style="list-style-type: none"> <li>○生徒の進路希望状況の把握</li> <li>○進路希望の明確化や目標の具体化の支援、進路のしおりの有効活用</li> <li>○進学補習体制の充実</li> <li>○進路だより等の定期的な発行</li> <li>○進路相談や個別指導の充実</li> <li>○各種ガイダンスの実施、外部講師等による進路講演会などの実施</li> <li>○スタディーサポートの活用</li> <li>○保護者・PTAとの連携の推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○各学年の希望状況を的確に把握できたか。</li> <li>○進路のしおりを活用し、進路実現に向けて指導の充実を図れたか。</li> <li>○平日や長期休業期間中の進学補習を計画的に実施し、参加者数が増加したか。</li> <li>○必要とされる進路情報を発信できたか。</li> <li>○個別指導や適切な進路相談ができたか。</li> <li>○計画に沿って説明会等を実施できたか。</li> <li>○スタディーサポートを適切に活用できたか。</li> <li>○保護者・PTAと連携して取り組めたか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○進路希望把握…スティサポートや学年会での情報交換</li> <li>○進路支援「進路のしおり」…指定校推薦校内選考の手続き及び調査書等発行手続きの見直し</li> <li>○進学補習体制…夏季休業の講座数、参加者数増加</li> <li>○進路だより…進路広報「POLARIS」を毎月発行</li> <li>○進路相談・個別指導…学期1回以上の担任の二者面談、個別の進路相談、推薦入試等の面接指導</li> <li>○各種ガイダンス…11/16 大学模擬授業等</li> <li>○スティサポート…定期模試分析・面談資料作成</li> <li>○PTA連携…7/17PTA 大学見学会、11/27PTA 研修旅行で大学見学、11/3PTA 進路講演会</li> </ul>	B	保護者アンケートでは「進路相談」や「保護者との連携」について、24%の方が不満だったと回答している。3年間を通じて一人一人の進路に応じたきめ細かい面談等を実施すると共に保護者対象の上級学校見学会等を充実させるなど適切な進路情報の発信が必要である。
3	しっかりと学校生活を送っている生徒が多いが、規範意識や交通マナーが希薄な生徒もいる。授業や部活動、学校行事等の教育活動全般の中で、健全な心身や豊かな人間性の育成、基本的生活習慣の定着、規範意識の向上等に取り組んでいく必要がある。	健全な心身と豊かな人間性の育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>○部活動、学校行事等の活性化。</li> <li>○TPOに相応しい整容・言動等の指導、基本的生活習慣の確立</li> <li>○規範意識や交通マナー向上のための指導の充実、人権教育の推進</li> <li>○防災教育の見直しと指導の徹底</li> <li>○校舎内外の環境美化の推進</li> <li>○スクールカウンセラーの活用と教育相談活動の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○部活動、行事等に積極的に参加できたか。</li> <li>○儀式、行事等にTPOに相応しい態度で参加できたか。基本的生活習慣が身に付いたか。</li> <li>○登下校時のマナーや規範意識等が向上したか。遅刻者数や生徒事故等が減少したか。</li> <li>○防災意識が向上し、避難訓練等を適切に行えたか。</li> <li>○校舎内外の環境美化に取り組めたか。</li> <li>○SCを活用し、相談活動を充実できたか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○部活動…加入率約80%、文化祭9/8・9(2400名)</li> <li>○整容・態度等…H26年度服装規程改定(11/13保護者向け通知、生徒への周知)</li> <li>○交通マナー…11/6 サイクルマナーアップ講演会 人権教育…人権調査委員による2学期全国調査</li> <li>○防災教育…5/25 緊急地震速報を利用した避難訓練</li> <li>○環境美化…11/8 通学路清掃(保健委員・生徒会・ボランティア、奈良町自治会、約80名参加)</li> <li>○スクールカウンセラーの活用…延べ70名以上</li> </ul>	B	学校行事への保護者満足度(体育祭91%、文化祭87%)は非常に高いが、生活態度・マナー等への不満が約20%あった。引き続き、生徒の生活態度・交通マナー等の徹底を図り、安心安全な学校づくりに努めたい。
4	学校HPの刷新や中学校訪問、学校だよりの配付等を通して、本校の教育活動に対する理解は徐々に広がってきている。引き続き、保護者や地域社会等に積極的に情報発信し、開かれた学校づくりを推進していく必要がある。	開かれた学校づくりの推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学校HPを通しての最新の学校情報の提供</li> <li>○保護者への情報提供の工夫</li> <li>○学校だよりやPTA広報誌等による情報発信の充実</li> <li>○学校説明会や中学校訪問等による学校PR活動の充実</li> <li>○学校評議員会等の年3回開催</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○日常的に最新の学校情報を提供できたか。</li> <li>○保護者への情報提供方法を工夫できたか。</li> <li>○学校だより等を定期的に保護者や中学校、地域等に配付できたか。</li> <li>○学校説明会の参加者数が増えたか。中学校側に本校の教育内容を十分PRできたか。</li> <li>○学校評議員会等を予定通り開催できたか。結果を共有し、教育活動に反映できたか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○HP…アクセス数12000超/月、リピーター率58%</li> <li>○情報提供…2月に緊急時等の「安心メール」を導入</li> <li>○学校だより「北高通信」年4回発行・PTA広報誌「あしかび」年3回発行</li> <li>○学校PR活動…学校説明会 8/8・9/29・10/20・11/17、中学校訪問(全職員)6/25～7/13・11/26～12/14、学習塾訪問(教務部)98校、※1月発表の中学生進学希望状況1.39倍(前年度1.31倍)</li> <li>○学校評議員会等の開催…定例3回、臨時(10/6)</li> </ul>	A	保護者アンケートの「学校HPの情報提供」については、約8割以上(不明30%を除いた割合)が満足と回答している。学校行事等の取り組みを、地域や中学生等に向けて情報発信し、開かれた学校づくりを推進していく。
5	時代の要請や社会の変化に適切に対応できる学校づくりが重要である。学校の特色化をさらに進め、生徒や保護者、地域社会の期待に十分応えられるようにする必要がある。	特色ある学校づくりの推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>○隔週土曜日の公開授業の実施</li> <li>○大学との高大連携事業の推進</li> <li>○学校特色化策の具体的な検討</li> <li>○職員研修会の実施</li> <li>○国際交流事業等の推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○土曜授業公開を計画通りに実施できたか。</li> <li>○埼玉大学等の連携事業を推進できたか。</li> <li>○学科再編を含めた具体的な特色化策の検討が進んだか。</li> <li>○職員研修会を実施できたか。</li> <li>○海外派遣や受入れ等を適切に行えたか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○土曜授業…公開授業来校者数(計776名/15回)</li> <li>○高大連携…科学者の芽(13名)、埼玉大フィールドスティ A(3名実施)</li> <li>○特色化…H26年度理数科の方針・教育過程表作成</li> <li>○職員研修会…11/12 教育相談研修会実施</li> <li>○国際交流事業…海外派遣14名 7/24～8/3、アルビオン高校来日 9/22～10/1、姉妹校提携締結(9/25 教育長表敬訪問)</li> </ul>	A	土曜授業への保護者満足度(82%)は非常に高かった。H26年度理数科設置への保護者期待度は55%と、関心が低めである。中学校や地域に向けても具体的な情報発信を進める必要がある。

学校関係者評価
実施日平成25年2月13日
学校関係者からの意見・要望・評価等
<ul style="list-style-type: none"> <li>・土曜授業は、家庭にとっても生活のリズムを作るのによい。</li> <li>・市立高校授業研究会において市内中学校進路主事の参加を呼びかけてはどうか。</li> <li>・教員が積極的にお互いの授業を参観して評価(感想)を交換してはどうか。</li> <li>・授業確保の工夫として55分授業等他校の実践も参考になる。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・進路情報をどのように選択すべきかということは、生徒の生き方の問題である。進路指導と生き方教育は、エンジンとハンドルの関係であり、生徒に望ましいハンドルさばきを身に付けさせることが必要だ。</li> <li>・大学入試の形態は、年々様変わりして多様化しているため、本人のがんばり次第で道は必ず開ける。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・スクールカウンセラーと教職員の連絡・報告が密にできるようになることが大切である。市内の教育相談室(5カ所)の利用も考えられる。</li> <li>・自転車の安全指導に更に力を入れて加害事故も防止できるとよい。学校周辺道路の清掃を部活の生徒にも協力願いたい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・土曜授業で保護者への質問コーナーを設けてはどうか。</li> <li>・保護者アンケートでは、保護者の関心の高い点を多く取り入れて質問してはどうか。</li> <li>・学校説明会を平日や開校記念日に実施してはどうか。</li> <li>・埼玉スーパーアリーナ進学フェアに生徒を派遣してはどうか。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・理数科設置により大学進学実績向上や普通科への良い影響が期待できる。クラス替えがないので学年内の交流も必要だ。</li> <li>・これからの広報活動が重要になる。中学校で実施している数学チャレンジカップのようなイベントも参考になる。</li> </ul>

